

水田たより 10月号

令和6年 10月 1日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

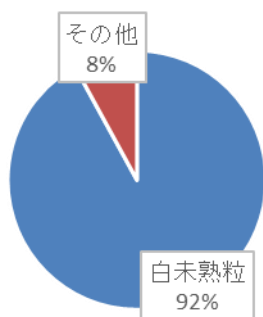
水稲

R6年産の作況 白未熟粒の発生

9月12日時点の検査状況は、コシヒカリで2等米比率が高くなっており、特に白未熟粒の発生が目立っています。

白未熟粒は、出穂後2週間の気温（特に夜温）が高いほど発生しやすくなります。籾のデンプン蓄積能力または茎葉のデンプン供給能力が減退することが原因で、これらの能力維持には窒素の供給が重要な働きを担っていると考えられています。

「コシヒカリ」2,3等格付け理由

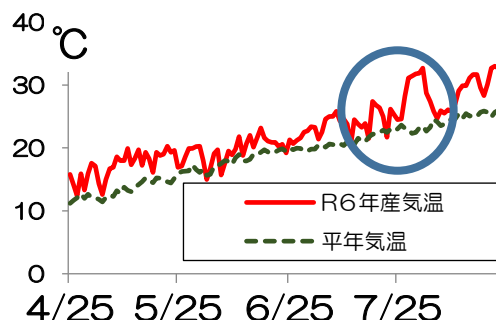


令和6年産米 検査状況（桑名管内・9月12日時点）

品種名	1等	2等	3等
	等級比率	等級比率	等級比率
あきたこまち	62.2%	33.6%	4.2%
コシヒカリ	38.3%	54.4%	7.3%

令和6年産のコシヒカリ（基準田4月25日移植の場合）では、出穂期7月21日以降、高温が続き、白未熟粒が発生しやすい環境でした。

近年暑い夏が続いており、今後も白未熟粒が発生しやすい環境となることが懸念されます。



水稲

高温に負けない！白未熟粒対策

(1) ケイ酸資材の施用

稲がケイ酸を吸収すると葉が直立し受光態勢が改善され、光合成が盛んになるため、光合成産物の供給量が増加し、白未熟粒の発生を抑制することができます。稲わらのすき込みによるケイ酸の供給だけでは、近年の高温に対応できません。

◎ケイ酸資材の施用方法 ※詳細は資材のラベルを必ずご確認ください。

①基肥施用の場合 作業可能なタイミングで！

適期：稲刈り後～田植え前

施用量：ケイ酸含量で15～20kg/10a程度

②追肥施用の場合 最も吸収されるタイミング！

適期：出穂40日前頃（中干し前後）

施用量：ケイ酸含量で10kg/10a程度

(2) 出穂期追肥の施用（耐暑肥）

基肥一発型肥料を使用しているほ場でも、幼穂形成期の葉色が薄い場合は出穂後の追肥（耐暑肥え）が有効です。

(3) 出穂後の水管理 ※水不足や水利関係に注意して行ってください。

出穂後は間断灌水を行い、冷たい新鮮な水を入れ、根の活力を維持しましょう。

◇播種適期と播種量

- ・播種作業は、ファイバースノウ・あやひかりは11月上旬から、さとのそらは11月中旬から開始し、生育を確保するため遅くとも11月末までには終了しましょう。
- ・播種が遅れてしまう場合は、播種量を増やすと茎数の確保に有効です。
 - 播種量（条播き、10aあたり）の目安
 - 11月上旬～中旬(通常)は8kg
 - 11月下旬は9kg、12月上旬は10kg、12月中旬は11kg。



小麦ほ場に発生した
ネズミムギ

◇雑草対策

麦連作ほ場でネズミムギ(イタリアンライグラス)の発生が目立っています。水稲や大豆等の作付けが防除に有効ですが、作付け転換が困難な場合は**播種前の非選択性茎葉処理剤**と**播種後の土壌処理剤**を組み合わせた**体系防除**で発生量を抑えましょう！

暖冬による生育前半の過剰分けつや、生育後半の肥料切れが問題となっています。

対策の1つとして、基肥施用量を減らし、4葉期から幼穂形成期以降に窒素を増施用する、追肥重点型施肥という技術があります。追肥重点型施肥では、有効茎歩合が高まり、生育後半まで高い葉色値が維持されることが報告されています。

<桑名管内における令和6年産小麦の追肥重点型施肥試験の結果>

	葉色値 (SPAD 値)				有効茎歩合 [%]	精麦重※ [kg/10a]
	12月下旬	1月下旬	2月下旬	3月下旬		
追肥重点型施肥区	44.0	45.2	48.6	37.9	84.9	612.3
基肥一発型施肥区	39.8	43.1	44.6	35.4	67	453.8

※精麦重は坪刈り調査での値

<試験における窒素施用設計>

	基肥		つなぎ肥① (1月上旬)		つなぎ肥② (1月下旬)		幼穂形成期 (2月中上旬)	
	肥料	窒素量 (kg/10a)	肥料	窒素量 (kg/10a)	肥料	窒素量 (kg/10a)	肥料	窒素量 (kg/10a)
追肥重点型施肥区	速効性	5.6	速効性	2.8	速効性	2.8	緩効性	4
基肥一発型施肥区	緩効性	17.5						

施肥試験の結果、追肥重点型施肥区で**葉色値が高く維持され、有効茎歩合が高まり、精麦重が増加しました。**

<その他、追肥重点型施肥における窒素施用設計の例>

	基肥		つなぎ肥 (12~1月上旬)		幼穂形成期 (2月中上旬)		止葉抽出期 (3月下旬)	
	肥料	窒素量 (kg/10a)	肥料	窒素量 (kg/10a)	肥料	窒素量 (kg/10a)	肥料	窒素量 (kg/10a)
窒素施用設計例	速効性	2	速効性	5	速効性	3	速効性	3
(慣行)	速効性	7			速効性	3	速効性	3

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページで
ご確認ください。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索